

3/4身着

志位氏「優柔で堅くないようであるのがの」「

安倍氏「空想の世界だ」

自民党的安倍晋三(元国相)は「三日、ロシアであれど」の国であれ戦争放棄を明記した憲法九条が社会的規範になれば他国を侵略できないとする考え方に対し、現実離れしており政策論になり得ないと認識を示した。こうした考え方方に及んだ共産党の志位和夫が、委員長の主張を「空想」と批判した。自民党本部での派閥会合で語った。日本維新の会は同日、安倍氏が提唱する「核共有」政策の議論開始を感じ込んだ提言を外務省に提出した。ロシアのウクライナ侵攻をきっかけに、安倍氏は、米国の核兵器を日本に配備し共同運用する核共有政策

本居宣長

ロシアを含む大国が核戦力

七〇

を巡る議論を呼び掛けていた。
今回の発言は、非核三原則への抵触が明白な核井有の導入をにらみ、世論を喚起する狙いがあるとしたられる。立憲民主党や共産党など野党や被爆者団体は、安倍氏や維新的活動に反発を強めている。議論は拡大しそうだ。

九条の平和主義を各國が共有すれば侵略を防げるとの論理に対し、安倍氏は、

ロシアを含む大国が核戦力を保有している現状を憲頭に「空想の世界だ」と反論。「空想にどまらない、思考停止などのかなという感じがする」と述べ、志位氏を皮肉った。

た。維持は、した繁榮だ」「2%を総生産が、当期稼働率格調に則るが、

が外務省に出したの
クライナ侵攻を受け
提言。「日本の安全
関わる深刻な問題として、防衛費を国内
(GDP) 比で当面
で増額するよう求め
界的なエネルギー供給
対策として、原発再
検討も促した。
の提言案は非核・原
置しに言及していた
除した。